科目名	商業簿記		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2023 年度 後期	単位数	2
担当教員	大竹　和徳		
内容および計画	前期の「会計学入門」で学んだ日本商工会議所主催簿記検定試験３級レベルの会計処理の内容を踏まえて、更に高度な商業簿記・工業簿記（原価計算を含む）を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を学習する。		
1	ガイダンス／簿記一巡の手続き		
2	財務諸表		
3	商品売買		
4	現金および預金		
5	債権・債務		
6	有価証券①（株式・公社債の処理、期末評価）		
7	有価証券②（満期保有目的債権・子会社株式・関連会社株式・その他有価証券）		
8	有形固定資産①（購入、減価償却、売却）		
9	有形固定資産②（割賦購入、建設仮勘定、改良と修繕）		
10	有形固定資産③（除却と廃棄、買換え、臨時損失、圧縮記帳）		
11	リース取引、無形固定資産		
12	引当金		
13	外貨換算会計（外貨建取引、為替予約）		
14	税金①（追徴と還付、消費税）		
15	税金②（課税所得の算定と税効果会計）		

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
合格テキスト　日商簿記２級 Ver.16.0	TAC 簿記検定講座	TAC 出版	9784813299035	2022
合格トレーニング　日商簿記２級 Ver.16.0	TAC 簿記検定講座	TAC 出版	9784813299066	

参考書	

成績評価

評価方法	割合(%)
課題・小テスト	40
定期試験	60

学習到達目標	日本商工会議所主催簿記検定２級レベルの商業簿記に関する会計処理能力を身につける。
先修条件	「会計学入門」が履修済みであること。
実務経験	
その他	授業では電卓を携帯すること（携帯電話を除く）。